



くろしお子どもニュース

町内児童・生徒が、身の回りのできごとなどをお伝えするコーナーです。

グンバイトンボだ！

「このトンボやろ」と言つて校長先生が教室に入つてきました。そのトンボを見ると後ろ足の2本ずつに白いものがついていました。前足には、何もついていません。白いものがおすもうの行司さんが持つているぐんばいみたいだからグンバイトンボという名前だそうです。体には、物さしみたいな線が入つていました。体がすごく細くてびっくりしました。わたしは、イトトンボみたいだなあ、どうしてグンバイトンボが学校に来たんだろうと思いました。先生が「きれいな水が学校の近くにあるしるしだね」といいました。そうか、学校のまわりにきれいな川があるからグンバイトンボが学校に来ただんだ。わたしは、ここのがきれいですよかったです。



絵:3年 にしやま 西山 たね 種

(拳ノ川小学校 3年)

畦地

梨乃里

(上川口小学校 6年)

宮地

陸翔

人と関わる上川口マルシェ



11月25日に、上川口マルシェがありました。以前上川口では、白石祭というお祭りがありました。その祭りがなくなつたので、上川口がさみしくなる、上川口をもり上げたいという思いで、5年前から始めたのが、この上川口マルシェです。5・6年生は、2学期から本格的に準備を進めていました。手作りのポスターやチラシを置いてもらうために、一軒一軒お願いしにお店を回りました。緊張したけど、ぼくたちの気持ちが伝わるよう、顔を見て話をするようにしました。当日は、町内外からたくさん的人が来てくれました。国道をたまたま通った県外の人も来てくれました。あいさつだけでなく、「どこから来ましたか?」といった会話をもするようになりました。この学習を通して、人と関わる力がついたよう

ました。以前上川口では、白石祭というお祭りがありました。その祭りがなくなつたので、上川口がさみしくなる、上川口をもり上げたいという思いで、5年前から始めたのが、この上川口マルシェです。5・6年生は、2学期から本格的に準備を進めていました。手作りのポスターやチラシを置いてもらうために、一軒一軒お願いしにお店を回りました。緊張したけど、ぼくたちの気持ちが伝わるよう、顔を見て話をするようにしました。当日は、町内外からたくさん的人が来てくれました。国道をたまたま通った県外の人も来てくれました。あいさつだけではなく、「どこから来ましたか?」と

講演を聞いて、避難所生活での困りごとやプライバシーの問題など、たくさんの方々が困りごとがあることが分かりました。また、その困りごとのなかには女性特有のものもあるということを知りました。様々な立場の人々の困りごとを事前に知っておくことは大切なことだと思いました。

人権講演会を聞いて



(佐賀中学校 2年)

奥本

小町